

アドテック東京2016で、 「テクノロジー活用によるテレビCMの今後の可能性」の トークセッションに登壇

2016年9月20日～21日に東京国際フォーラムで開催された「アドテック東京2016」において、当社石井弘益（デジタルソリューション局 I メディアプロモーション部部长）が登壇。

9月20日16：15～17：05に行われたトークセッションでは、「テクノロジーを取り込むことで高まるテレビCMの魅力と重要性」をテーマに、アタラ合同会社有園雄一氏（取締役COO）がモデレーターとなり、株式会社クレディセゾン相河利尚氏（プロモーション戦略グループ部部长）、株式会社テレビ朝日ホールディングス岩田淳氏（渉外担当部部长）とともに、テレビCMの今後の可能性についてそれぞれの立場で意見を披露。当社が9月にリリースした「テレビメタデータと人工知能を活用したキャンペーンマネジメントの実証プロジェクト」の結果をもとに、「テレビメタデータ」、「5G」、「プログラマティックTV」等、テクノロジーの進歩によるテレビCMの運用の可能性を視野に入れた活発な論議が繰り広げられ、注目を集めました。

●アドテック東京2016

<http://www.adtech-tokyo.com/ja/>



トークセッション「テクノロジーを取り込むことで高まるテレビCMの魅力と重要性」より